



ホットニュース Hot News

◎パソコン・スマホのことなら図書館へGO!!!

「スマートフォンや、ワード、エクセルを使いこなしたいと思って、インターネットで検索しても分からない、やっぱり本で確認したい…。」そんな時は図書館へ！パソコン・スマホの本は同じ棚にまとめ、探しやすい見出しをつけています。大きな活字の本や、今話題の「ChatGPT」に関する本もあります。

中央図書館では、スマホの使い方について知りたい人向けに、NPOたはら広場による「スマホお悩み相談」を「たはらLab. コーナー」で毎月1回開催しています。人には聞きづらいスマホの初歩的な使い方

ら相談できるので、お気軽にご参加ください。

また、「たはらLab. コーナー」では、タブレット端末を使って自由にロボットを動かしたり、パソコンを使ってゲームを作って遊んだりして、プログラミングを体験することもできます。ぜひ、ご利用ください。



▲たはらLab.コーナー

オスナの本



おもしろ動物折り紙
木村良寿／著 日貿出版社

かっぱやたぬきなど、ゆるっと可愛くて、ひねりのきいた動物が折れる、子どもから大人まで楽しめる折り紙の本です。



こやたちのひとりごと
谷川俊太郎／文 中里和人／写真 アリス館

普段何気なく目にする「小屋」たちがしゃべったら…？ほら、あなたにも小屋たちの声が聞こえてくるよ。

History Inquiry Club 眞の235 歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720
吉胡貝塚資料館 ☎22-8060
渥美郷土資料館 ☎33-1127



博物館HP



博物館Instagram

ドナルド・キーンと渡辺華山、そして田原

ドナルド・キーン(1922~2019)はアメリカ・ニューヨーク生まれの日本学者です。特に、それまで世界の人々が関心を持ってこなかった日本文学を研究し、広く知らしめた功績で知られています。

そのキーンが2003(平成15)年8月、合併したばかりの田原市を訪問しました。目的は郷土の偉人、渡辺華山の調査にありました。その2年後の2005(平成17)年、キーンは『新潮』に1年間にわたり「渡辺華山」の評伝(※)を執筆しました。この評伝は、その後書籍として出版されます。連載中にキーンは田原を訪問し「渡辺華山と周囲の人々」と題して講演を行いました。2017(平成29)年には、これまでの縁から、田原市博物館の名誉館長に

就任しています。



▲城宝寺を参拝するキーン
(2017年10月)

なぜキーンは、多くの過去・現在の日本人の中から、特に華山に関心を持ったのでしょうか。まず、キーン自身がアメリカ人の立場から先駆者のほとんどいない日本文学を研究した人物です。逆に、江戸時代の鎖国の中で華山を含めた日本人が西洋文明を学んだという事実に大きな共感を持ちました。さらにキーンの眼を華山にクローズアップさせたのは、そのリアリズム精神にあふれた肖像画の数々です。キーンは、華山の芸術は、リアリズムという点で西洋文明を受け入れた華山自身の感受性とつながるものがある、と考えました。

現在、田原市博物館では特別展「ドナルド・キーンと渡辺華山—華山の叡智にふれて—」を開催中です(12月3日まで)。ドナルド・キーンは渡辺華山から何を見出したのか、華山の美しい絵とともに楽しみください。特別展は、市内在住、在勤、在学の方は入館が無料です。ご来館をお待ちしています。

(学芸員 木村洋介)

※人物評を交えた伝記のこと。